

CASBEE®-建築(新築) 2021年SDGs対応版 | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 ■使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.1)

| 1-1 建物概要 | | 1-2 外観 | |
|----------|-----------------------|--------|-----------------|
| 建物名称 | JR西宮駅南西地区市街地再開発事 | 階数 | 地上35F |
| 建設地 | 兵庫県西宮市 | 構造 | RC造 |
| 用途地域 | 近隣商業地域、防火地域、準防火地域 | 平均居住人員 | 852 人 |
| 地域区分 | 6地域 | 年間使用時間 | 8,760 時間/年(想定値) |
| 建物用途 | 物販店・集合住宅・工場 | 評価の段階 | 実施設計段階評価 |
| 竣工年 | 2027年7月 予定 | 評価の実施日 | 2024年2月2日 |
| 敷地面積 | 6,072 m ² | 作成者 | アール・アイ・エー長谷直樹 |
| 建築面積 | 3,760 m ² | 確認日 | 2024年2月5日 |
| 延床面積 | 45,412 m ² | 確認者 | アール・アイ・エー上嶋喜登 |



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 3.0

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆☆ 100%: ☆☆☆☆ 100%超: ☆

2-3 建築環境SDGsチェックリスト評価結果

* SDG1,2,10,14,16は他のゴールに集約されています

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 3.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.5

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.5

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 4.7

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 4.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.3

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.9

3 設計上の配慮事項

| | |
|---|--|
| <p>総合</p> <p>高さ100mを超える当該施設は西宮市内の広範囲から視認でき、新たなスカイラインを形成する建築物の一つとなる。低層部では市内の歴史的施設や街並みと合わせたボリューム構成とし樹木による豊かな自然を計画することで調和を図る。高層部では形状や着色範囲を分節させることで圧迫感を軽減させるとともに、端正なフォルムにより西宮市の新たなランドマークを創出する。</p> | <p>その他</p> <p>周辺の交通に影響を与えないための十分な台数の駐車場・駐輪場を確保し、光害を抑制した外構計画等、敷地の外部環境に配慮した計画としている。</p> |
| <p>Q1 室内環境</p> <p>住戸のバルコニー側は2重サッシとすることで隣接するJ R線からの騒音を考慮した計画としている。外部に面する箇所を中心として断熱材を適切に計画することで快適な温熱環境を保持できる計画としている。</p> | <p>Q2 サービス性能</p> <p>全住戸にディスプレイ処理機を標準装備とし、各戸からのゴミの量を削減している。1階及び15階には防災倉庫を計画し、有事の備えた計画としている。平置き駐車場は全てEV充電スタンドを計画し、EV自動車対応としている。</p> |
| <p>LR1 エネルギー</p> <p>外壁や屋根の断熱性を高めることでエネルギー消費量低減に配慮し、LED照明等の高効率設備機器を採用している。</p> | <p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>節水型便器やリサイクル資材の採用など資源の再利用を図るとともに水資源の保護に努めた計画としている。</p> |
| <p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>樹木、地被類等を積極的に計画することで、緑豊かな外部環境を創出している。また動植物によっても新たな生態域の一部となることで西宮市の自然環境の保護、育成にも貢献する。</p> | <p>LR3 敷地外環境</p> <p>JR西宮駅の南西に位置する元卸売市場地区の当敷地は南面に国道2号と接していることで交通の便が非常に高い。加えてJR西宮駅に近接しているため居住地としての高いポテンシャルを有する敷地といえる。</p> |

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される